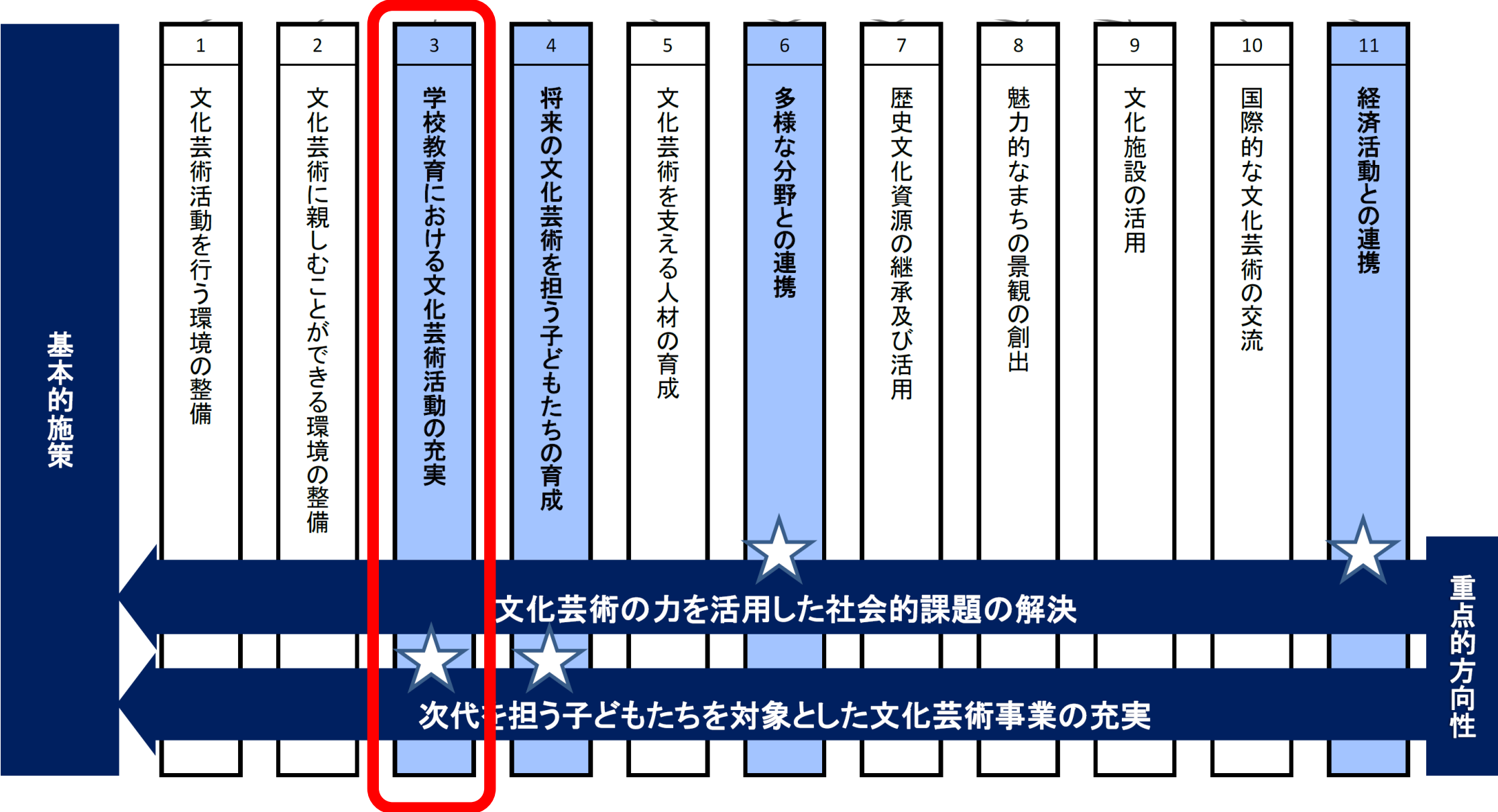


堺市文化芸術審議会部会 第3回資料

負担金事業

さかいミーツアート

文化芸術推進計画と整合する基本的施策



概要

○平成26年度から開始。

○参加対象：市内小中学校の児童・生徒

○実施内容

芸術家等を学校に派遣し、実技指導や体験を交えたワークショップを行う。

アート体験事業

【実施分野】音楽、造形、ダンス、能楽

アートアプローチ事業（支援学級向け）

【実施分野】音楽、造形

○実施場所

教室、音楽室、多目的室、図工室、理科室、体育館など学校施設内

事業目的

○小・中学校等で多様なアートプログラム実施することで、新しいアートに出会ってもらい、次代を担う子どもたちに新たな経験をしてもらうことで、豊かな心と感性を育むことができる環境づくりを進める。



プログラム内容(音楽分野)

○楽器体験

- ▶誰もが知っているクラシック鑑賞、オーケストラについての説明
- ▶楽器や簡単な道具を使った演奏体験
- ▶質問コーナー
(なぜ音楽家をめざしたのか等)

- ・ 講 師：大阪交響楽団
- ・ 楽 器：ヴァイオリン
トロンボーン
フルート
コントラバス &
チェロ
- ・ 令和元年度実施校：5校



プログラム内容(音楽分野)

○音楽体験（オペラ）

- ▶歌手の“声種”（ソプラノ、アルト、テノール、バス）の説明と歌唱
 - ▶オペラのあらすじや見所の説明
 - ▶オペラダイジェスト版の鑑賞
 - ▶発声練習
 - ▶学校課題曲の共演 等
 - ▶質問コーナー
-
- ・ 講 師：堺シティオペラ
 - ・ 令和元年度実施校：2校
(1校は小中一貫校)



プログラム内容(造形分野)

○造形制作体験

- ▶ 児童に制作指導
- ▶ 児童が成形したものを講師が持ち帰り、焼成し返却。
- ▶ 返却時に作品の作り方や美術分野について解説。

・ 講 師：大阪芸術大学短期大学部 特任講師（本多氏）等

(葉っぱのお皿づくり)



(ランプシェイド)



(土鈴づくり)



・ 令和元年度実施校 5校 この他に四代田辺竹雲斎氏が講師の授業（竹工芸）も実施 1校

プログラム内容(ダンス分野)

○ダンスワークショップ

- ▶ダンスの基礎となるバレエの実演披露
- ▶基本的な身体の動きやリズムの取り方、生徒の目標に合わせた身体の表現方法を指導。

・ 講 師：野間バレエ団



プログラム内容(能楽分野)

○お囃子の授業（能の音楽である「お囃子」を体験）

- ▶演奏鑑賞
- ▶楽器解説（4つの楽器の構造、構え方、音の出し方などについて）
- ▶楽器演奏、かけ声練習



○舞と装束の授業（能の装束について体験）

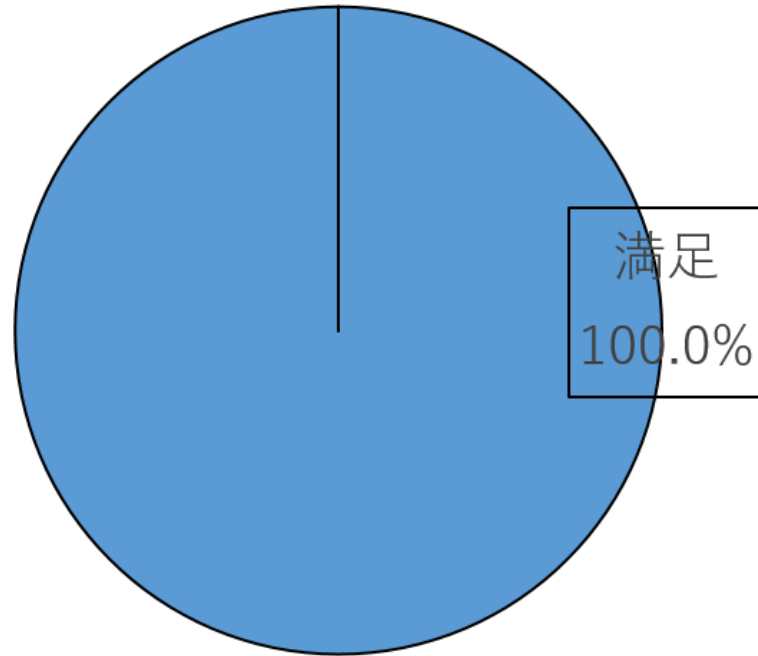
- ▶舞囃子の鑑賞
 - ▶謡いに挑戦（「高砂」を謡ってみよう）
 - ▶能面について解説・体験 等
- ・講 師：公益社団法人能楽協会
 - ・実施校：4校



学校からの感想

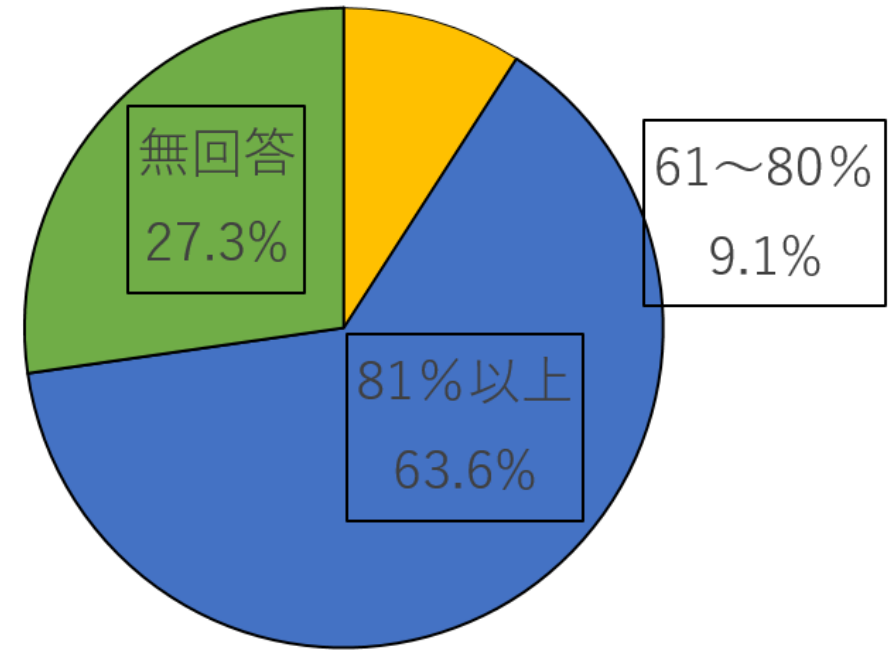
○楽器体験

授業の満足度



- 普段触れることのない楽器に触れることができ、実際に自分で音を出せる経験ができたことは、とても貴重な時間でした。
- 鑑賞と体験の両方があり、子どもが飽きずに楽しめた。
- いつもとは違う雰囲気、新しいことに触れてみる良い機会になっていたと感じました。

授業後の児童・生徒に良い影響が見られたか

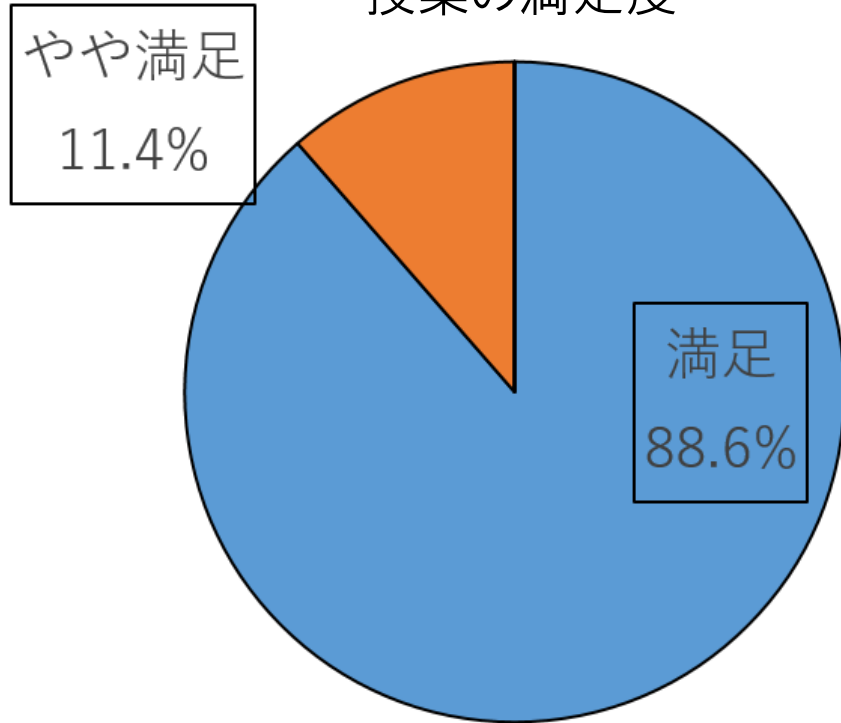


- いろいろな楽器がやってみたいとか、他の芸術（劇など）にふれてみたいという発言があった。
- 午後からの授業で目が輝いていました。話を食い入るように聞いていました。
- 教室に戻ってからの給食中は、オーケストラの話でもちきりでした。クラスで「演奏するなら」とか「芸術鑑賞が楽しみ」とかたくさんの声が聞こえてきました。

学校からの感想

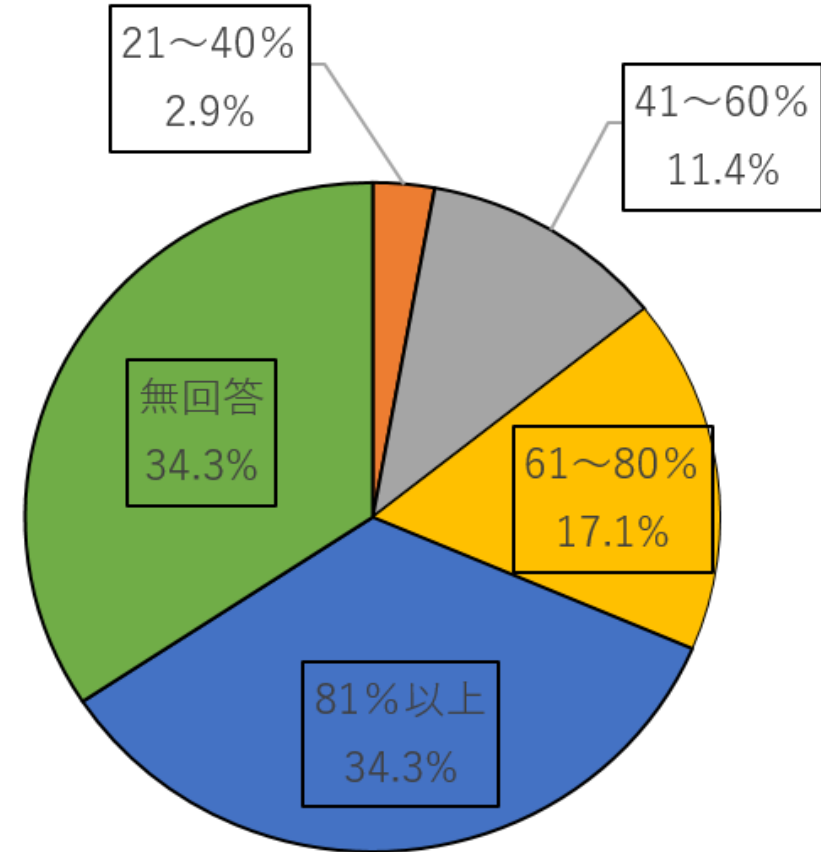
○音楽体験

授業の満足度



- それぞれの衣装も美しく、オペラを劇仕立てで紹介するなど工夫が見られた。子どもたちに馴染みのある曲を取り入れていただけたので、プロのすばらしい歌声をより感じられた。
- 出席者の方のエピソードが聞けたので。
- 普段聴くことのできないオペラに子ども達がふれられ、良い経験になったと思います。

授業後の児童・園児に良い影響が見られたか

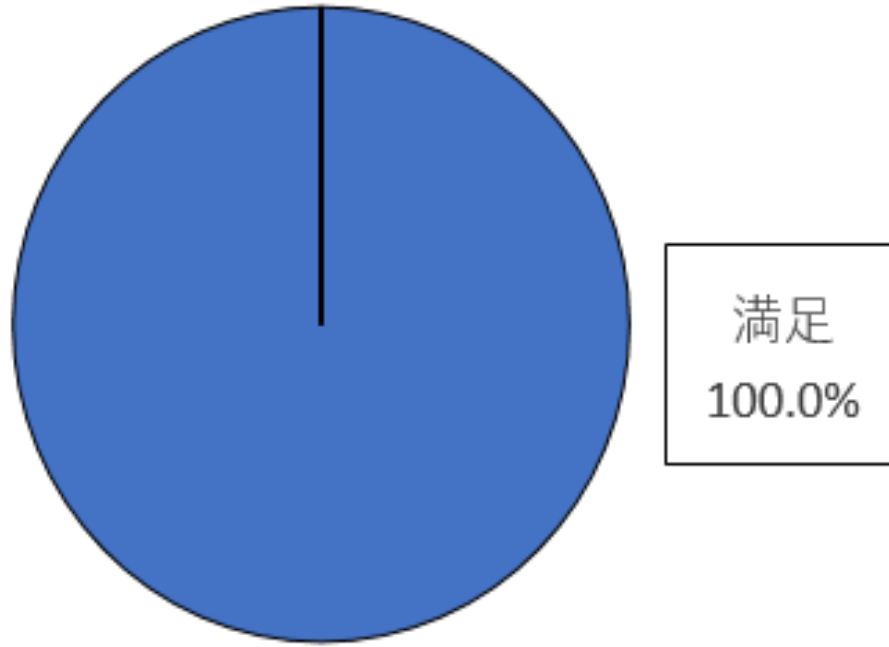


- この芸術鑑賞を通して、芸術に興味を持ったと振り返っている子がいた。
- 高校生からでもトレーニングしだいでプロになれることを知り「自分もいけるかも」という声があった。
- 音楽できれいな声を出そうと努力していた。

学校からの感想

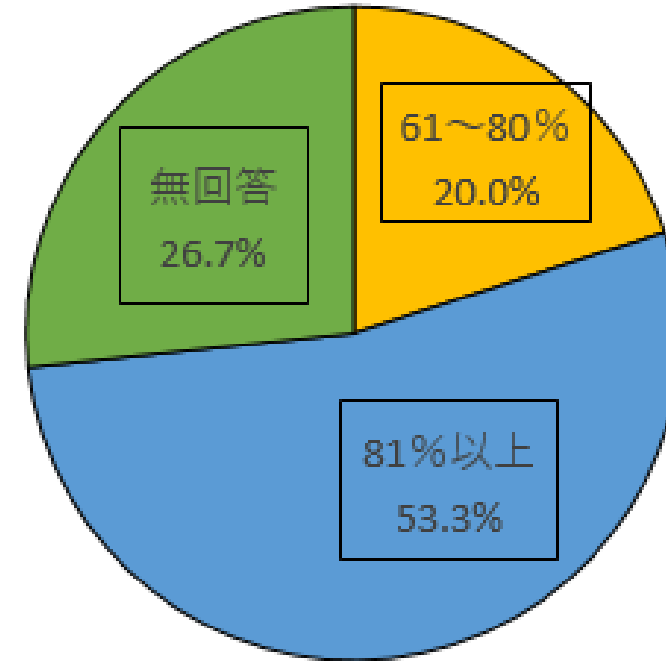
○造形体験

授業の満足度



- 土の粘土を触るという体験活動だったのが良かった。作業の難易度も丁度良かった。
- 子どもたちが集中して取り組み、チャレンジしようとしていた姿が見られたことが良かったと思いました。
- 泥粘土は初めての児童も多く、経験できて良かったです。工程も分かりやすく全員が安心して取り組みました。

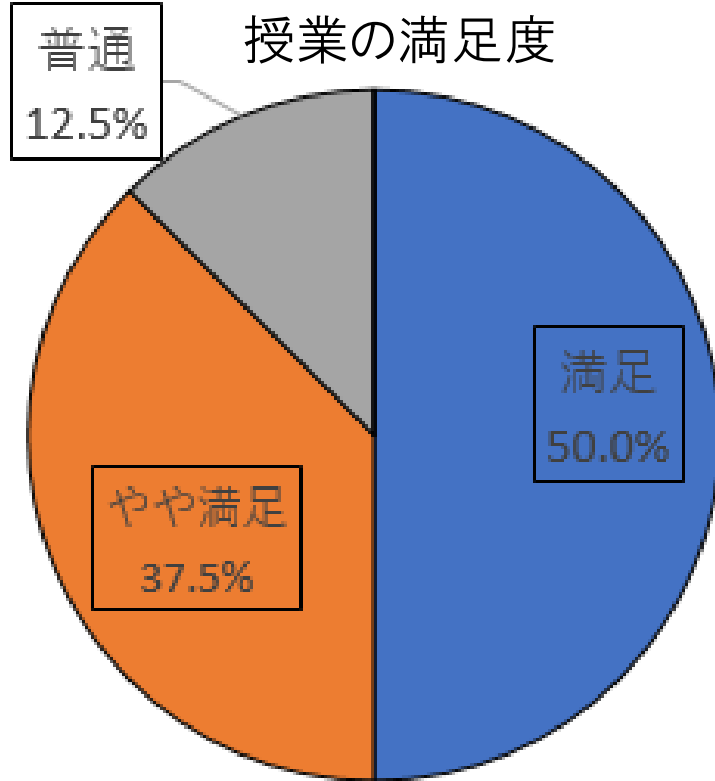
授業後の児童・生徒に良い影響が見られたか



- 普段、無気力な子が、作品作りに一生懸命になっていた。
- 説明をしっかりと聞けば、自分の思っていた様な作品ができると話してくれました。
- いろんな職業があることに気づき、将来についてと関連付けて考える子が増えた。
- 教室でも友達と作品について交流したり、形を変えたり、竹工芸について興味を持つ姿が見られました。

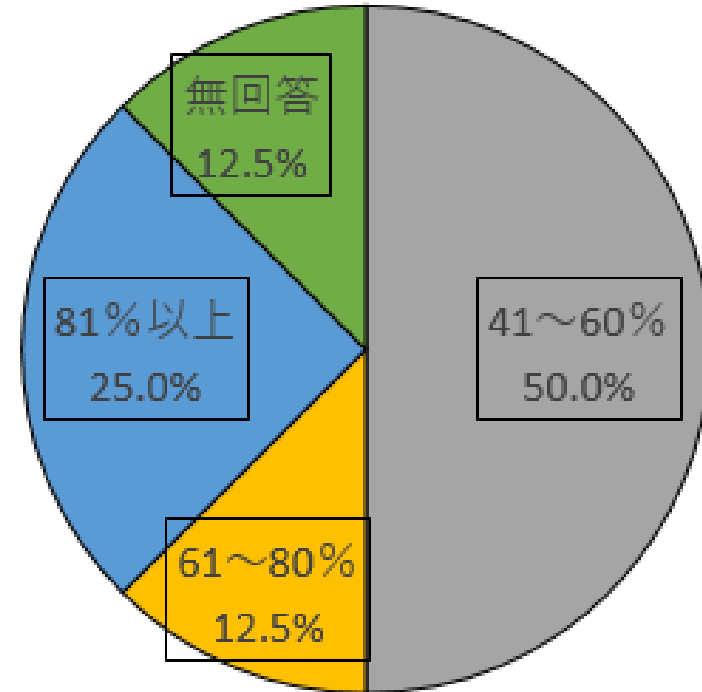
学校からの感想

○能楽体験



- 初めての体験で、児童の目が輝いていました。
- 能の説明を聞き、知らないことが多く、歴史の授業につながりそうなので面白かったです。
- なかなか観ることのできない能を観れて良かったです。少し子どもたちには難しい部分もあったようには思いました。

授業後の児童・生徒に良い影響が見られたか



- 伝統芸能に興味を持ったようで、「次は狂言が観たい！」や「落語も来てほしい！」などの発言がありました。
- 講師の先生が話をするときに、自然と姿勢が良くなり正座で話を聞いていました。
- 能以外の伝統文化にも興味を持ち始めたため。今回の授業をきっかけとして興味の幅が広がったと感じた。